

# ★最高の夏を終えて 選手のコメント紹介②



64



速報新聞

キマグレ

発行所  
彦根東高等学校  
新聞部  
彦根市金亀町4番7号

## 3 吉本孝祐君

一塁手の吉本孝祐君(31)は滋賀大会について「ベンチに入っていない3年生が分析をしてくれてメンバー以外の部員の力を感じられた」と話した。甲子園全体について「1回戦も2回戦も両方強い相手だった。あの舞台で自分たちの野球ができてよかった」と、また2回戦の9回裏を「練習でも後半に強いチームになるうとやっていた。スタンドやベンチが一体となって最後まで諦めずに点が取れた」とそれぞれ振り返った。

今年のチームについて「個々の能力は高くないが、ベンチやスタンドが一体となって強豪校にも勝てるチームだった」と話した。高校野球生活については「しんどい時もあったがこのチームで甲子園に出ら

れてよかった」と微笑んだ。後輩に向けて「ベンチメンバーも残っているので力のあるチームになると思う。時間はないが夏にもっと良いチームを作り、全国制覇に向けて頑張ってください」と期待を寄せた。

## 4 朝日晴人君

二塁手の朝日晴人君(21)は滋賀大会を「苦しい試合もあったが、大会前の練習試合で自分たちのプレーをすれば勝ると示せたので、自信を持って挑めた」と振り返った。「楽しい時間を過ごせてよかった。目標だった一勝は達成できたがその先で負けてしまい、自分たちの代に課題が残った」と甲子園の感想を述べた。青森山田戦の9回裏の攻撃について「自分たちの力なら逆転できると思った。

『何が何でも得点を』と思いつつ積極的にバットを振った」と話した。朝日君は今大会のチームを「声を掛け合い、考えるまとまりのあるチーム」と述べた。新チームについて「自分たちのプレースタイルを見つけてそれぞれが実力アップしたい。来年の夏は甲子園に行つて先輩達を超えたい」と熱意を見せた。

## 5 岩本道德君

三塁手の岩本道德君(31)は滋賀大会について「優勝でき、甲子園出場という目標を達成できて良かった。厳しい試合をものにできたのは春からの練習のおかげだと思う」と振り返った。甲子園については「甲子園という夢の舞台で自分たちの持っている力をそれ以上に発揮できた」と述べた。また青森山田戦での9回裏の攻撃について「仲川には『思いっきり行け』とみんなが応援した。チーム全員で打ったホームランだと思う」と打ち明けた。

今大会のチームについて「とても仲が良いチームで一

つの課題に全員が取り組めるチーム」と微笑んだ。高校野球生活を「彦根東に入つてよかった。ただもう少しみんなと野球がしたかった」と話した。最後に後輩へ向けて「春の選抜に出ろ。僕たちを超えてほしい」とエールを送った。

## 6 原晟也君

遊撃手の原晟也君(318)は「春は自分たちの野球ができなかったが夏はできたので優勝できた」と振り返った。「『私立の強豪校に勝とう』と言っていた。負けてしまったが最後粘って今までやってきたことを形にできた」と甲子園の感想を打ち明け「勝てる自信しかなかった。雰囲気もよくいけると思い、思いきり振った」と2回戦の9回裏の心境を述べた。

また「苦しいことが多かったが、それを乗り越えてきたからこそ今があると思う。甲子園に行けてよかった」と3年間を締めくくった。最後に「もっと勝てると思ったが2回戦で負けてしまった。後輩にはさらに上に行つてほしい」と後輩にメッセージを送った。